

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学校名	恵那市立岩呂小学校		
実施期間	平成25年10月14日(月)～10月20日(日)		
実施概要	① 畑と学校給食を結ぶ事業(10月17日)給食の野菜生産者と共同で農作業を行った。その後、校内で生産者と一緒に給食をとり、食を通じて交流を深めた。 ② 授業参観で全クラスの授業公開を行った。その後、児童と保護者が手作りお弁当を食べ、家族や地域で交流を行った。また、内田美智子先生を講師に招き、食に関する教育の重要性を保護者に訴えた。		
実施内容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来校者数	保護者	180人	計200人
	地域関係者	20人	
実施状況	① 3年生が食育教育の一環として、給食の素材となるブロッコリー(3年)の収穫体験・生産を行い、食物生産の苦労や喜びを味わった。その後、学校で生産者が育てた地元野菜(ブロッコリー)を使用した給食を共に食べながら、交流を深めた。 ② 授業参観を行い、前期の本校教育の成果を授業を通して公開した。また、この日は「家族そろってお弁当の日」を実施し、学年発達段階に応じて、手作りしたお弁当やおかずを家族で食べる機会を設けた。 午後からは、保護者や地域の方々を対象に福岡県行橋市の内田産婦人科医院の助産師、内田美智子先生を講師に招き、「食卓から始まる生教育」の演題で、食育講演会を実施した。		
成果及び課題	① 本校児童が食物に関する苦労や生産の喜びを語る姿を見て、生産者はもっとおいしい野菜、安全な野菜を作りたいと語っておられた。今後、こうした取組を他学年に広めたり、地元野菜のよさや生産者との交流を全校児童にまで広げたりしたい。 ② 「家族そろってお弁当の日」の取組を通し、児童はいつもご飯を作ってくれる家族に対する感謝の気持ちが深まった。また、自分でお弁当を作ることで、お家の方が、栄養のバランスや盛りつけにも気を遣って弁当を作っている事に気づくことが出来た。また、家族一緒にお弁当を食べることで家族のふれあいの場とすることが出来た。 午後からの食育講演会では、内田美智子先生の体験に基づくお話から、毎日一緒に食事をとる事が人を育むとても大切な場であり、食べることは命を育むことであると再認識する機会になった。		